

白いこじりがきたよ

和田 登^{さく} 梅田俊作^え



913 和田 登

白いことりがきたよ

新日本出版社

74P 22cm(新日本おはなし文庫⑩)

白いことりがきたよ

新日本おはなし文庫⑩

1983年3月25日 第1刷発行©

1983年5月20日 第2刷

作 者 和田 登 画 家 梅田俊作

発行者 松宮龍起

発行所 株式会社 新日本出版社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8

TEL 東京(478)3311 振替 東京 3-13681

印 刷 光陽印刷 製 本 小高製本

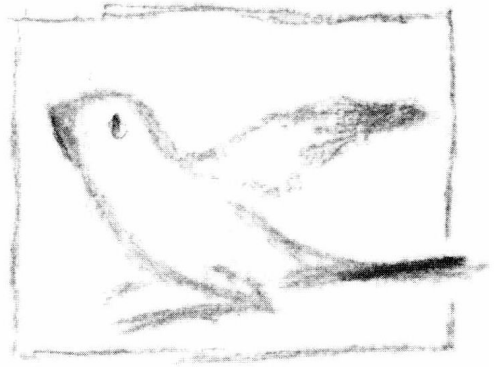
(落丁・乱丁本はおとりかえます)

* この本の一部または全体を無断で複写複製(コピー)して配布することは、法律に認められた場合を除き、著作者および出版社の権利の侵害になります。あらかじめ小社に承諾をお求めください。

白いことりがきたよ

和田 登さく 梅田俊作 え





見^みえました。

「なんの とりかな？」

ユミが たち上^あがるのと、どうじでした。

スズメは、ぱっと 空^{そら}に にげ、その はんたいに、白^{しろ}い

1

「あれっ？」

ユミが、べんきように あきて、

うしろを ふりかえったときです。

白^{しろ}い ことりが、五^ご、六^{ろく}わの スズメと

いっしょに、ベランダに きているのが

ことりが、へやの なかに まいこんできたのです。

「あ、あーっ」

ユミが、おおごえを あげている まに、ことりは、
べんきようづくえの 上^{うえ}に とまり、ぷるつと、くびを
ふりながら、ユミの ほうを 見^みました。

ユミは、そうつと あとずさりをして、いつきに
ガラスどをしめました。

とたん、ことりが じぶんの ものに なったような
きが して、むねが、どつきん どつきん なりました。

白い ことりは、二、三^{さん}ど、へやの 中^{なか}を
とびまわりましたが、しばらくすると、すっかり ユミの
手^てに おさまってしまいました。







くちばしが、サクラのはなびらのようないろをした
うつくしい　ことりです。

下^{した}の　へやへ　おりていって、おかあさんに　見^みせると、
「あら、ブンチョウじゃない？」

と、びっくりしたように　いいました。

そこへ、六年生^{ろくねんせい}の　おにいちやんが、がつこうから
かえってきて、

「シロブンチョウだよ」

と　いい、ずかんと　とってきて　見^みせました。



「ユミ、こりゃあ、だれかが かつていたんだぞ。おらあ、しらねえぜ」

「でも、ユミちゃんの ところに きたなんて、あの
インコの うまれかわりみたいじゃない」

おかあさんが いいました。

ユミは、いちねんせい一年生の おわりごろ、かつていた インコが
びようきで しんでしまい、ひとばんじゅう なきつづけた
ことが あります。

ユミが、のこっていた インコの エサを、ときどき、

ベランダに まくように なったのは、それからの
ことです。すると たちまち、スズメたちが
よってくるようになりしました。

けれど、こんな かわった ことが やってきたなんて、
はじめてです。

「おかあさん、ユミに あまくしちや、だめだぜ。こうばん、
こうばんに でんわしなよ」

「おにいちゃんって、きらいっ！」
ユミの 目^めから、すつと、なみだが おちました。

「もうっ！」

ユミは、ぷーっと ふくれて、二かいへ

かけ上^あがってしまいました。

つくえに むかい、ブンチョウを なでている あいだに、
もう この ことは、ずうっと まえから、じぶんの

もののような きがしてきました。

ブンチョウも、ユミに なれ、うまく 手^てに のるようにな
りました。

——やっぱり、どこかの 子^こが かつていたんだわ。



しかし、ユミは むりに それを うちけして、

「ふんっ、おにいちゃんなんて！」

と、ぶつぶつ いっていました。

すると その とき、おかあさんが やってきて、ユミの
かたに 手^てを かけました。





「こうばんには、いちおう、
でんわしたわ。でもね、
ユミちゃん、こういう
ものの かいぬしって、
ほとんど、とどけ出^でが
ないんだってよ。だから、
おたくで
かっててくださいって」
「ほんと!？」

「うん、でも、もちろん、かいぬしが 見^みつかれば、
その おたくに かえさなくちゃ」